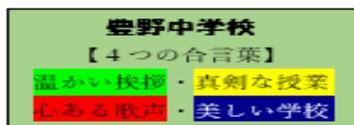




夢創造

豊野中だより



教育目標「夢創造～一生懸命がカッコイイ」～ 生き生き充実ウェルビーイング！

令和5年度1月号 春日部市立豊野中学校



埼玉県マスコット「コバトン」

能登半島地震で被災の方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます

新しい年に思う“Well-being ウェルビーイング”と『今と未来の生き生き充実』誰ひとり取り残さない

～1月は「節目と決意」の月

校長 齊藤 哲



今年もよろしくお祈りします～震災に際し年頭のご挨拶は控えさせていただきます

はじめに「令和6年能登半島地震」において犠牲となられた73名(1月4日朝現在)の尊い命と海上保安庁機で救援に向かう際に羽田での衝突事故によりお亡くなりの方々、ご家族の皆様にお悔やみ申し上げ、また今も倒壊物の下敷きになっておられる方々はじめ多くの被災者にお見舞い申し上げます。さらにこのたよりをご覧のご家族・ご親戚その他関係の方々に対し心中お察し申し上げます。

令和6年がスタートしました。本校は今年も豊野中に関わるすべての人にとっての「今と未来のウェルビーイング」を目指して教育活動を進めてまいりたいと考えています。

12月「振り返りと夢創造」の月は、さまざまなかたちで令和5年を「振り返り」ました。学校評価として保護者や地域の方々にも、また生徒自身や教職員自身にも豊野中学校の教育活動を点検・評価してもらいました。「第3回学校運営協議会」では、授業参観の後、全国・関東・県大会等で活躍した生徒代表として陸上部、バスケット部、卓球部、吹奏楽部、ボランティア部、お弁当コンクール入賞生徒、生徒会長がそれぞれ活動の報告をしながら懇談し、熟識に加わりました。

「学校評価について」委員の皆様からは…

- 「生徒は学校生活を楽しんでいる」など高い評価項目については、
- ・「生徒たちが生き生きと生活している。評価が高いことがよくわかる。大変なもの。」
- ・「中学生になってからの子どもの成長が顕著であると感じる。すばらしい」
- ・「様々な時代を乗り越えての「今」だと思うが、本当に『良い状態』だと感じる」

○反対に評価の低い項目については、

- 「生徒の様子を見ると、もっと高く評価してもよいのではないか。」
- 「生徒も先生も保護者も、もっと自信を持っていいんじゃないか。」など好意的なご意見をいただきました。

○報道等で全国的な中学生への懸念として

- ・全国小中学生の視力の低下が心配。タブレット、スマホの使用の影響はどうか。
- ・SNSによるいじめ、差別が(世間で)多いらしい。豊野中はどうか。
- ・自転車ヘルメットの着用について強く伝えてほしい。頭部への致命傷による死亡事故の50%はヘルメットの着用により防げたものである。 などなど…

おかげさまで豊野中の現状と今後のビジョンについて共有することが出来ました。

令和6年の豊野中も「今と未来」の「生き生き充実～ウェルビーイング」を目指し、「夢を創造します」そして「誰ひとり取り残さず」「一生懸命でカッコイイ姿」が見られるようになることを目指します。

学校の目指す形、経営方針の中に『ウェルビーイング』『Well-being』という言葉が入り2年になりますが、年始にあたりあらためて確認とご紹介します。

古くは1946年のWHO(世界保健機構)が「健康」の定義づけをした際に登場しています。

“健康は、完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない”(出典:厚生労働省 昭和26年官報掲載の訳)

ウェルビーイングは身体的・精神的・社会的にも良好な状態、「状態」としていることから一時的・瞬間的に良好かどうかではなく、持続的に良好であるとしていることがその特徴です。一方で、幸せと訳されることの多い「Happiness」は一時的・瞬間的な、精神的な面での幸せを表します。概念として①Positive Emotion(ポジティブな感情)②Engagement(何かへの没頭)③Relationship(人との良い関係)④Meaning and Purpose(人生の意義や目的)⑤Achievement(達成)の5つがあげられるそうです。

さらに、2015年の国連総会で採択されたSDGsの宣言文に「身体的・精神的・社会的にウェルビーイングな社会と目指す方向性」、2021年にはWHOが健康と同じ日常生活の一要素としており、非常に重要な概念としてウェルビーイングを捉えていることが分かります。(PERMA「ポジティブ心理学」自己実現理論:マーティン・セリングマン、講談社SDGs、ベネッセウェルビーイングLabより)

お詫びと訂正(お知らせ)

12月号の新人戦県大会結果に間違いがありました。ここにお詫びを申し上げ、訂正をいたします。

誤:陸上部 女子4×100mR 第2位
正:陸上部 女子4×100mR 優勝

誤:男子卓球部 団体戦 2回戦惜敗
正:男子卓球部 団体戦 3回戦惜敗



埼玉県マスコット

「コバトン」

ところで皆さんは「主観的ウェルビーイング」といわれる以下の5つの観点について、ご自身をどのように評価されますか。

- ・キャリア ウェルビーイング→仕事に納得感を持っていて、日々の仕事を楽しんでいるか
- ・ソーシャル ウェルビーイング→生活の中で、他者と深い関わりや愛情を持つことができているか
- ・ファイナンシャル ウェルビーイング→支出や収入をうまく管理することにより、経済的に満足ができているか
- ・フィジカル ウェルビーイング→心と体が健康で、自分がしたいと思ったことをする十分なエネルギーがあるか
- ・コミュニティ ウェルビーイング→地域とつながっていると感じられている

もちろん私自身すべてが高得点というわけにはいきませんが、仕事のこと、家族のこと、健康のこと、仲間のこと、お金のこと…。今と未来の充実した生活を送るためのヒントがウェルビーイングという言葉の中に詰まっているようです。

「誰ひとり取り残さない」…被災者にもこの言葉は、SDGsの理念のひとつです。

この言葉が基本となって全世界がSDGsに向かって動いています。人種、年齢、性別、LGBTQ、貧困の差…そして「未来を生きる人たち」も取り残さない。地球温暖化の歯止めなどはまさに未来への責任です。元日に被災された方々にも寄り添っていくのです。でも考えが大切です。すぐにでも駆けつけたいですが、個人的な救援活動はかえって妨げになるので控えなければなりません。何が出来るかはそれぞれの難しい判断が必要です。思考・判断・表現の力、学びに向かう力が必要です。非認知能力が必要です。

豊野中だとどうでしょう。たとえば今日も元気に豊野中にいる人たちがほとんどだと思いますが、様々な理由で別の場所で学習している人もいます。同じ学校の別の教室で勉強している人もいるかもしれません。同じ教室に居ても、笑顔で授業を受けていても、心が取り残されている人がいるかもしれません。そんな人たちのことを是非考えてほしいのです。具体的にこれをしてほしいとは求めません。答えは皆さん自身が出すのです。それが共に生きる。ということ。共生社会というものだからです。実際には考えてくれている人が多くいてくれると思っています。とても良い表情で学校生活をしている人が多いからです。実際アンケートの回答でも、「学校生活を楽しんでいますか」の質問に対し、皆さん自身の回答が、「92.1%」が楽しいと答えています。でも100%ではありません。残りの7.9パーセントの人たちに寄り添えるか、そこが全世界の人々の未来への課題です。思考・判断・表現の力、学びに向かう力が必要です。非認知能力が必要です。だから勉強するのです！みなさんの決意はどうでしょう。

今年辰年です。

活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年といわれ、「龍が現れるとめでたいことが起こる」。創造性と情熱を解き放ち、勇気と自信を持って夢を追い求める年、「大きなチャンス年」とも言われています。

この節目の月に決意を新たにすることで、大きなチャンスをつかみましょう。

保護者・地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。巻頭で触れさせていただいた通り学校運営協議会委員の皆様はご出席ありがとうございました。今月25日には春日部市教育委員会研究委嘱の発表会もごさいます。市内外からお客様をお迎えし、「チーム豊野中の団体戦」で価値あるものにしていきたいと存じますので引き続きのご理解とご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

藤塚香取神社 氏子さんボランティア ボランティア部有志



1月「節目と決意」の月





2学期終業式 各学年 生徒代表の言葉



2学期を振り返って 1年3組

2学期を振り返ると合唱コンクールや文化祭、エコプロなどたくさん行事がありました。その中でも私が1番に残っていることは合唱コンクールです。

合唱コンクールは、クラスや学年全員で何度も歌の練習を重ねてきました。特に印象に残っているのは、結果発表のときです。結果が発表されたとき、私のクラスは優勝にはならなかったけれど「頑張って練習をして本番までこれた」という達成感で胸がいっぱいになりました。合唱コンクールで学年、クラスが一致団結することで、みんなとの仲を前より深めることができたと思います。

そして、初めての校外学習で行ったエコプロではたくさんのお話を学びました。特に印象に残っているのは、コオロギについてです。多くの国々ではフードロスが日々大量に発生していて、コオロギはフードサイクルを実現することができる循環型の食品であり、持続可能な社会に必要なサーキュラーフードということなどを学ぶことができました。1度テレビで「コオロギは世界を救う食べ物」として知り、食べてみたいと思い粉末にしておせんべいになったものを食べたことがありました。エコプロでは、姿、形があるコオロギを食べてみました。姿があるのはとてもびっくりしましたが、食べてみたら見た目と違っておいしかったです。これからは資源を大切に、環境にやさしくできたらいいなと思います。

1学期にあまりしゃべらなかつた人もこのような行事を通して仲良くなれました。中学校1年生の半分が終わって、自分はこの人のことをあまり知らなかつたんだなと思うこともたくさんあり、この人ともっと関わりをもつて知らなかつたことを知っていきなかつたいと思います。

勉強面については、とても成長したと思います。2学期の中間テストでは、1学期よりも頑張つて勉強をしたけれど、あまり点数が上がらなかつたので、期末テストで勉強する時間を増やしたりして、テスト勉強をしました。結果は前よりも高い点数が取れたので、とてもうれしかったです。そして勉強の楽しさが少しわかつたと思います。3学期のテストでも2学期より努力できるようにします。

この3学期、校外学習や合唱コンクールでの集団行動で一致団結したことや、それらで学んだたくさんのお話を3学期にあるスキー教室に活かします。学びながらも楽しみ、みんなの思い出に残るような3学期にしたいです。学級委員としてもみんなをまとめられるように頑張ります。

2学期を振り返って 2年4組

僕はこの2学期、部活動に力を入れてきました。僕はバレーボール部に所属しています。先輩たちがいた1学期までの間は、ただただバレーボールが好きで、先輩たちに憧れ、先輩たちと過ごす時間が楽しくて、何の不安もなく部活に取り組んできました。ですが、先輩たちが引退して2学期になると、楽しくて好きなバレーボールは僕の中からなくなりました。先輩たちが今まで先頭に立ってやってきてくれたことが、いかに大きなものであつたか、先輩の存在の大きさに気がつきました。

そんな中で、部長という役割を与えられ、初めは不安しかありませんでした。僕はリーダーシップをとるのが苦手なので、小学生の時から班長やリーダーなどの立場は経験したことがありませんでした。「なんで自分なんだろう…」、他にも出来る人がいるのではないかと、前を向けずに頑張れないと思つた時期もありました。

悩んでいる僕に両親は、「やるもやらないも自分で決めな」、「自分で決めたことには責任をもちなさい」という言葉をかけてくれました。「頑張れない…」と思つていた時に、「頑張れ」と言われて励まされるより、「自分で好きなように決めな」と、あっさり言つてくれたことに救われた気がしました。

そして色々悩み考え、やっぱり先輩たちの引退試合のようにかっこいい試合を自分もしたいと思ひ、バレーボールも部長という役割も頑張ると決めました。今は色々あつても自分で決めたことだから頑張らないといけなかつたという気持ちで、前向きに取り組めるようになったと思ひます。

この3学期は自分が部長の役割をこなすのが精一杯で余裕がなく、最低限のことしかできていなかつたのが反省点でした。なので、3学期、そして3年生に進級した時には周りに気を配りチーム全体を見渡せる余裕を持てたらよいつと考えています。また、チームをまとめて雰囲気をよくするために、仲間のプレーにプラスの声かけができるようになりたいと思ひます。そして、親や先生に感謝の気持ちを忘れずに、みんなから応援されるチームを作つていきなかつたいです。また、学校生活においても、自分がやると決めたことを最後まで頑張ろうと思ひます。委員会や係活動も自分でやると決めたことなので3学期終了まで全うしようと思ひます。定期テストも2年生最後のテストになるので、計画を立て、計画通り進むように努力したいと思ひます。

2学期を振り返って 3年3組

2学期は、1年間で一番長い学期で、大きな行事として、合唱コンクール、文化祭そして、中間テスト、期末テストがありました。1学期は中間テストがなかつたので、ペースがうまくつかめるか心配でしたが、無事、乗り切ることができました。合唱コンクールでは一組が学級閉鎖でこれず、2、3、4組がホールで歌いました。ホールで歌うのは、3回目になるのですが、慣れず、とても緊張しました。2回目の合唱祭も緊張しました。私の組、3組は銀賞を取れました。ずっと取れるとは思わず、びっくりしました。とてもいい思い出になりました。そして、最後に、学年全員で歌えた正解がとても心に残りました。

また今学期は、進路の話が沢山出てきて落ち着かなくとも多くあり、校長面談という初めての経験もありました。始まる前はとても緊張して、校長室の前の待機椅子で、原稿用紙を見ながら自分の気持ちを落ち着かせていましたが、案の定、校長室に入ったやいなや、覚えていた言葉の半分が頭から飛んでしまい、焦りながら話をしました。ですが最後に校長先生にととても優しい笑顔で「落ち着いてやれば大丈夫だよ」と言つていただきました。私はその言葉に安心し、自信を持つことができました。

それから、担任の先生との面談もあり、自分を見つめられる時期でもありました。自分の将来について真剣に考えることもできました。今まで、ゲームの話をしてた人達も話題が進路の話になつたりと、変化のある学期でした。これは、体験して初めて分かつたことです。

私の三学期の目標は、私立と県立の受験を頑張ることです。先週、私はやっと、3回目で私立の推薦をとることができました。1回目と2回目は、同じ私立へ行つたのですが、偏差値が2つたりず、とれませんでした。3回目は、担任の先生におすすめしてもらつた私立へ推薦を取りに行きました。もし、推薦をとれなかつたらどうしようという不安が私を襲つてきましたが、対応してくださつた先生と半分ぐらい雑談してました。私は推薦がとれてとても安心しましたが、お母さんに「通学に1時間半もかけなかつたなら県立に受かりなさい」と言われ、絶対に受かつてやると強く心に決め、努力を続けようと思ひました。

冬休みに頑張りたいことは、受験生らしい生活を送ることです。勉強だけではなく、適度な運動も欠かさず、受験に向けてのポテンシャルを高めていきなかつたいです。

最近寒い日が続いているので、体調に気をつけて、冬休みをたのしんでください。

2学期を振り返って 789組

2学期の始業式で2学期の目標を発表しました。その時、志望校に合格するための力をつけることを目標にしました。具体的には、国語では漢字が苦手なので漢字の力をつけること、数学では方程式の計算や関数の学習に力を入れると話しました。漢字の学習では漢字合格に向けて国語の先生と一緒に勉強をしました。特に対義語、類義語や音読み訓読みが苦手なのでたくさん勉強をしました。勉強して間違えずにできることもあれば、何度も間違えてしまい何度も復習や振り返りをしながらできるようになることもありました。

数学では、方程式の計算と関数を今年になってやりはじめました。難しいことを授業で取り組むことで今までやってたことや受験に使う勉強が簡単に感じるようになりました。他にも受験に国語の文章問題や数学の時刻の問題がありますが、まだ苦手です。受験は1月17日にあります。そのため、この冬休みは国語や数学の勉強に力を入れて取り組んでいきたいです。

2学期には楽しいことがたくさんありました。合唱コンクールや体育など楽しい思い出です。合唱コンクールは文化会館でみんなで歌うことはできませんでした。でも、3年生だけで体育館で合唱コンクールができてよかつたです。最後の合唱コンクールで金賞がとれました。みんなで協力してきれいな歌が歌えてよかつたです。

3学期も受験に向けて運動や授業などを頑張つていきます。みんなと受験に合格して楽しい思い出を作つて卒業できるように頑張ります。

令和5年度春日部市特別支援学級 ふれあいアート展のお知らせ

日時 令和6年1月29日(月)～2月12日(月)
会場 春日部市教育委員会ブログポータルサイト

(https://schit.net/kasukabe/center/gakko_now)

※今年度はWEB上での開催となります。

内容 絵画・粘土・工作・習字・家庭科作品・技術科作品等の掲載

主催 春日部市特別支援教育推進協議会
春日部市教育研究会特別支援教育研究部
春日部市教育委員会

問合せ 春日部市教育委員会 指導課

TEL 048-739-6805